



2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス
コード番号 4812 URL <https://www.isid.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名和 亮一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部 (氏名) 初木 直人

TEL 03-6713-6160

四半期報告書提出予定日 2023年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	105,267	12.2	15,551	9.6	15,695	10.7	10,838	13.2
2022年12月期第3四半期	93,808	17.4	14,186	48.8	14,184	51.6	9,574	49.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 11,108百万円 (10.5%) 2022年12月期第3四半期 10,056百万円 (51.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	166.56	
2022年12月期第3四半期	147.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	131,312	79,155	60.3
2022年12月期	121,892	73,871	60.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 79,155百万円 2022年12月期 73,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		33.00		45.00	78.00
2023年12月期		44.00			
2023年12月期(予想)				47.00	91.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	8.5	21,000	13.0	21,100	15.0	14,700	16.7	225.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	65,182,480 株	2022年12月期	65,182,480 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	112,277 株	2022年12月期	114,680 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	65,069,464 株	2022年12月期3Q	65,114,468 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

単位：百万円

	2022年12月期 第3四半期累計	2023年12月期 第3四半期累計	増減	前年同期比
売上高	93,808	105,267	+11,459	112.2%
営業利益	14,186	15,551	+1,365	109.6%
営業利益率	15.1%	14.8%	△0.3p	—
経常利益	14,184	15,695	+1,511	110.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,574	10,838	+1,264	113.2%

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調が続きました。当社グループを取り巻く事業環境についても、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れが日本経済を下押しするリスクはあるものの、企業のデジタル投資意欲は強く、堅調に推移しました。

かかる状況の下、当社グループは、長期経営ビジョン「Vision 2030」および2024年12月期を最終年度とする3か年の中期経営計画「ISID X(Cross) Innovation 2024」を推進しています。当中期経営計画では、4つの活動方針「事業領域の拡張」「新しい能力の獲得」「収益モデルの革新」「経営基盤の刷新」のもと、事業成長の加速と自己変革に取り組んでいます。

2年目となる当連結会計年度は、2030年に向けた当社グループの変革をさらに推し進めるため、当社の商号を2024年1月1日付けで、「株式会社電通国際情報サービス」から「株式会社電通総研」に変更すること、ならびに本商号変更にあわせて、コンサルティングを専業とする子会社2社を当社へ統合することを決定しました。加えて、電通グループの日本事業を統括する「dentsu Japan」内のシンクタンク「電通総研」の機能の当社への移管に向けた準備を進めています。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高105,267百万円（前年同期比112.2%）、営業利益15,551百万円（同109.6%）、経常利益15,695百万円（同110.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益10,838百万円（同113.2%）となりました。

売上高については、4つのセグメントすべてにおいて増収となりました。利益につきましても、人件費および研究開発費を中心に販売費及び一般管理費は増加したものの、増収効果により、すべての段階利益で増益となりました。

報告セグメント別の売上高、営業利益および営業の状況は以下のとおりです。

■報告セグメント別売上高および営業利益

単位：百万円

報告セグメント	2022年12月期 第3四半期累計			2023年12月期 第3四半期累計			増減額	
	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益	営業 利益率	売上高	営業利益
金融ソリューション	20,710	1,532	7.4%	22,582	2,577	11.4%	+1,872	+1,045
ビジネスソリューション	13,513	3,665	27.1%	17,466	4,571	26.2%	+3,953	+906
製造ソリューション	26,529	3,142	11.8%	29,819	3,459	11.6%	+3,290	+317
コミュニケーションIT	33,055	5,846	17.7%	35,398	4,942	14.0%	+2,343	△904
合計	93,808	14,186	15.1%	105,267	15,551	14.8%	+11,459	+1,365

■報告セグメント別営業の状況

金融ソリューション

金融機関をはじめ企業における各種金融業務を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、会計を中心としたコアバンキング領域および顧客接点改革領域におけるソフトウェア商品の販売・導入が銀行業向けを中心に拡大したことにより、増収となりました。利益につきましても、増収効果および収益性改善により、増益となりました。

ビジネスソリューション

会計・人事を中心に経営管理業務を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、注力する4つのソリューション、統合人事ソリューション「POSITIVE」、連結会計ソリューション「STRAVIS」、会計ソリューション「Ci*X」、経営管理ソリューション「CCH Tagetik」の販売・導入が商社および製造業を中心に拡大したことにより、増収増益となりました。

製造ソリューション

製造業の製品開発/製造/販売/保守にわたる製品ライフサイクル全般を対象とするITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、3次元CAD「NX」、PLMソリューション「Teamcenter」および構想設計ソリューション「iQUAVIS」等が輸送機器および機械業を中心に拡大したことにより、増収増益となりました。

コミュニケーションIT

マーケティングから基幹業務領域まで企業のバリューチェーンやビジネスプロセスの最適化を支援するITソリューションの提供を主たる事業としています。

当第3四半期連結累計期間は、SAPソリューションの導入案件が製造業を中心に拡大したことにより、増収となりました。利益につきましては、一部受託システム開発案件の売上原価増およびアウトソーシング・運用保守サービスの収益性が低下したこと等により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して9,420百万円増加し、131,312百万円となりました。流動資産は、主に売上債権の回収、契約負債の増加により預け金が増加したほか、顧客向けサービスのためのサブスクリプション契約・保守契約に係る前渡金が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して9,072百万円増加し、112,171百万円となりました。固定資産は、ソフトウェア・有形リース資産の新規取得により、前連結会計年度末と比較して347百万円増加し、19,140百万円となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末と比較して4,135百万円増加し、52,156百万円となりました。流動負債は、仕入債務の増加、保守・サブスクリプション型サービス提供に伴う契約負債の増加を主因として、前連結会計年度末と比較して3,905百万円増加し、49,592百万円となりました。固定負債は、株式給付引当金の増加、リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比較して231百万円増加し、2,564百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、剰余金の配当があったものの、主に当社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して5,283百万円増加し、79,155百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2023年7月31日に発表した予想数値に変更はありません。

※予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,909	4,808
受取手形、売掛金及び契約資産	30,377	30,519
商品及び製品	121	87
原材料及び貯蔵品	29	24
前渡金	17,315	20,518
預け金	48,846	54,542
その他	1,503	1,675
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	103,099	112,171
固定資産		
有形固定資産	3,098	3,152
無形固定資産	5,903	5,844
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,145	10,144
貸倒引当金	△354	△1
投資その他の資産合計	9,791	10,143
固定資産合計	18,793	19,140
資産合計	121,892	131,312
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,163	15,906
未払法人税等	3,075	2,487
契約負債	14,296	16,598
受注損失引当金	785	549
株式給付引当金	10	—
その他	13,355	14,050
流動負債合計	45,687	49,592
固定負債		
退職給付に係る負債	52	64
資産除去債務	854	859
株式給付引当金	54	105
その他	1,371	1,533
固定負債合計	2,333	2,564
負債合計	48,021	52,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,270	15,270
利益剰余金	50,045	55,084
自己株式	△416	△406
株主資本合計	73,080	78,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	234	238
為替換算調整勘定	524	788
その他の包括利益累計額合計	758	1,027
非支配株主持分	32	—
純資産合計	73,871	79,155
負債純資産合計	121,892	131,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	93,808	105,267
売上原価	59,790	67,408
売上総利益	34,018	37,859
販売費及び一般管理費	19,831	22,307
営業利益	14,186	15,551
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	38
持分法による投資利益	—	6
保険配当金	44	47
助成金収入	17	32
投資事業組合運用益	19	46
雑収入	59	10
営業外収益合計	178	180
営業外費用		
支払利息	17	19
持分法による投資損失	9	—
貸倒引当金繰入額	29	—
為替差損	108	9
雑損失	15	6
営業外費用合計	180	35
経常利益	14,184	15,695
特別利益		
投資有価証券売却益	—	135
移転補償金	270	—
持分変動利益	31	—
特別利益合計	301	135
特別損失		
減損損失	—	75
投資有価証券評価損	65	302
賃貸借契約解約損	922	—
特別損失合計	988	377
税金等調整前四半期純利益	13,497	15,453
法人税、住民税及び事業税	4,930	5,187
法人税等調整額	△1,022	△573
法人税等合計	3,907	4,614
四半期純利益	9,589	10,839
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,574	10,838

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	9,589	10,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	4
為替換算調整勘定	359	264
その他の包括利益合計	466	268
四半期包括利益	10,056	11,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,041	11,106
非支配株主に係る四半期包括利益	14	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	20,710	13,513	26,529	33,055	93,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,710	13,513	26,529	33,055	93,808
セグメント利益	1,532	3,665	3,142	5,846	14,186

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	金融 ソリューション	ビジネス ソリューション	製造 ソリューション	コミュニ ケーション IT	合計
売上高					
外部顧客への売上高	22,582	17,466	29,819	35,398	105,267
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	22,582	17,466	29,819	35,398	105,267
セグメント利益	2,577	4,571	3,459	4,942	15,551

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。